

信州昆虫資料館 春報

発行日 2006/04/05

第1巻 第1号

おかげさまで3周年



開館期間:

4月16日オープン ~ 11月30日 (月曜日定休)

午前10時~午後5時(※11月は午後4時まで)

館では信州で見られる昆虫標本、昆虫に関する文献・書籍などがいつでも閲覧できます。今年も自然観察会を行いますので、お誘いあわせてご参加ください。専門のインストラクターが同行します。また、館顧問の安藤先生(筑波大名誉教授)も毎回参加して下さいますので、何でも質問して勉強しましょう。

昨年は、庭先のエノキの下からオオムラサキの越冬幼虫がいくつか無事に出てきてくれました。その内3頭が成虫となり、大空へ舞い上がりました。また、頂いてきたサナギ7頭は館内で羽化。それぞれに庭先のエノキの葉にタマゴを生んでくれました。

たくさんのお小さな卵が孵って幼虫となり、羽化するまでの旅の道中どれ程の天敵に遭遇することか…

自分より大きな鳥や虫の餌食にされ、生き残るのはほんの一割程度です。そうして、より大きな者強い者が地上にはびこるという訳です。さて、人間はどのようなポジションにいるのでしょうか?

小さく儂い生命を通して、私たち人間という生物についても考えていきたいですね。

※ 高見澤今朝雄 佐久穂町在住

「日本の真社会性ハチ 全種・全亜種生態図鑑」

信濃毎日新聞社刊 著者

彗星・新星・超新星など、10の天体発見者

館では、ハチと星のお話をさせていただきます。

当館代表の小川原との対談もお楽しみに!

年間スケジュール:

4月	16日(日) PM1:30~ オープニング講演 ~昆虫と私~ 講師:安藤裕(理学博士) 小川原辰雄(医学博士) 終了後 懇親会 ~参加自由~
5月	14日(日) PM1:30~PM4:00 館周辺自然観察会 第一回
6月	18日(日) PM1:30~PM4:00 館周辺自然観察会 第二回
7月	9日(日) PM1:30~ 特別講演 講師:高見澤今朝雄先生※ 対談 高見澤先生、小川原先生 終了後 楽しい歌のコンサート 丸川尚子さん(声楽家)他
8月	6日(日) PM8:00~ 夜間昆虫観察と星空を観る会 ※18歳未満の方は保護者同伴
9月	10日(日) PM1:30~PM4:00 館周辺自然観察会 第三回 虫や花の写真を撮ろう! 講師:栗田貞多男(写真家)
10月	8日(日) AM9:30(館玄関集合) 秋の十観山登山と自然観察 (お昼、カメラなど各自持参)
11月	11日(日) AM10:00~ '06ありがとう会 館内外の整備、木の保護など (お昼はスタッフがけんちん汁を用意) 午後、作業終了後 懇親会 ~自由参加~ -当日のボランティア大募集-

ひとつの星 ～名和 靖（1）～

私の心のある処に、たくさんの星々が瞬いている。
その内のひとつのエリアに明治生まれの昆虫少年、名和 靖・佐々木忠次郎・前澤淵月（旧伊那郡）等の名が連なる。

昨年イベント時に「人生と昆虫」（M42発行 前澤著・名和 閱）の一部を朗読したが、覚えている方も居られるかもしれない。

この前澤の本に、オオムラサキ（学術名：ササキヤ）の命名者、佐々木忠次郎が「人蟲共棲」と自筆の書を寄せている。そして前澤を支えた名和は、早春の女神ギフチョウの発見者である。

この嬉しいトリオを発見したのは、紛れもなく館代表の膨大な蔵書部屋に見つけた「人生と昆虫」を許しを得て持ち帰り、我が家でじっくり読んだ三年前のことになる。我が家もまた、山の中にある明治初年の民家である。私はしばしの時期、一挙に明治の時空を旅していたような気がする。

この素晴らしいトリオの、一人一人をいつかじっくり調べて紹介したいと思っていた矢先のこの3月、思い切って岐阜へ飛んでみた。

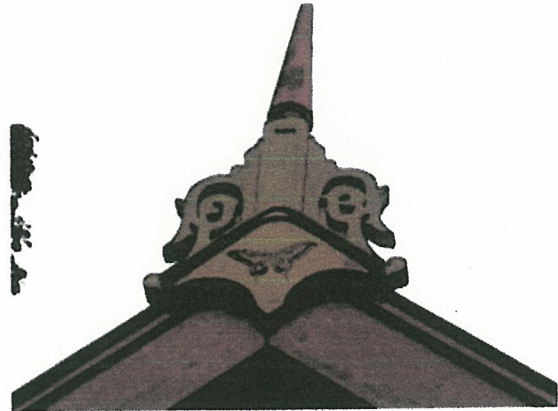
M29、岐阜市京町に独力で設立された名和昆虫研究所は、農作物や家屋の害虫研究を目的としていた。M37に現在地（岐阜公園内）に移転され博物館となった。M39には、昆虫標本収蔵室としての記念館が建てられた。（武田五一設計）

現在見学できるのはこの博物館の方である。

時代の香りの漂う二つの西洋館が並ぶ前に立ったとき、人間のすぐ側で生息する昆虫、あるいは害虫との付き合い方に渾身の力を注いだ先駆者の意気と、アカデミックな香りとは混ざり合い、時に眩暈を覚えたものだった。



（博物館内）



（記念館の屋根のデザイン）

館内は明るくさっぱりとライティングされ、チョウ・甲虫他多くの標本が分かりやすく愉しく展示されており、一つの飼育ケースの中では、羽化したてのギフチョウが何頭も息づいていた。さながら蝶の宮殿の如きであった。

何とか記念館の方もと、受付におられた田中氏に頼んだところ「未整理のままですが・・・」と、特別に記念館の鍵を開け、案内して下さった。

その暗い空間に置かれた資料雑誌の数々、唐招提寺八角堂を模倣したミニ八角堂、木像、チョウの展翅で作った屏風・・・すべて名和自身の作だという。この器用さと集中力というものを思わずにいらなかった。埃にまみれて雑然としていたが、なまじな手入れはいらぬ！と、名和が否定しているのかもしれない。実際そういうものなのだろう。手を入れるなら、本気で時代考証しつつ、名和の人生を追体験せねば解らぬことばかりだ。態勢が整うまでは、そっとしておくのが良策というもの。しみじみとした想いで、館を後にした。

名和昆虫博物館には、我が館代表も30年前に、訪れていることを後で知った。

その訪問記が「長野県昆虫同好会誌 New Insect 第11巻 第32号」（1967）に掲載されている。また、「博物誌 内科医の生物体験」（1985発行 小川原辰雄著）の中にも引用されている。

次回からその内容も紹介したい。

館では、古い文献・書籍も閲覧頂けますのでお申し付けください。

子供たちの句

2006年に、青木村小学校の皆さんから贈られた昆虫絵画作品を館の図書コーナーにファイルしてあります。

素敵な句が添えられておりますので、紹介したいと思います。

- | | |
|--|--------|
| ◇ するどいは かつこいいだろう おれたちは (オオカマキリの絵) | ゆう一 |
| ◇ オレたちの パワーをみやがれ やっちまえ (セグロアシナガバチ) | けいた |
| ◇ こんなむし いたらぜったい ころされる (ゲニア) | 片田幸平 |
| ◇ クワガタは カブトムシより 強いんだ (クワガタ) | 竹下 圭 |
| ◇ きれいだよ ムラサキシジミ ラメの色 (ムラサキシジミチョウ) | 小沼蓉花 |
| ◇ さむいんだ たすけてくれよ なかまたち (ホラズミトビムシ) | 花見よしひろ |
| ◇ 私の青色 きれいでしょ (ヒサマツミドリシジミ) | 多田敦美 |
| ◇ はねの色 きれいな青色 すごいんだ (オオムラサキ) | [友] |
| ◇ ムラサキツバメ 黒色の中に きれいなブルーが入ってる (ムラサキツバメ) | 市川詩織 |
| ◇ わたしはあおいすじが めじるしよ (アオスジアゲハ) | 山下琴未 |
| ◇ まっくろの 中に白が はいってきれいでしょ (モンキアゲハ) | 栗林夏美 |
| ◇ ぼくのむらさき きれいでしょ (オオムラサキ) | 中沢ましこ |
| ◇ クワガタは 世界にすごく いるんだよ (クワガタ) | 清水優輔 |
| ◇ トノサマバッタ たかくとぶのが すごいんだ (トノサマバッタ) | 町 風吹 |
| ◇ 私の羽は 青色です (オオムラサキ オス) | [も] |
| ◇ ころされる たすけてくれよ なかまたち (コシボンアナバチ) | 金井 溪 |
| ◇ ぼくはちょうになれて うれしいよ (オオムラサキ オス) | 工藤美咲 |
| ◇ 私メス たまごをうむの たくさんね (オオムラサキ メス) | 長岡志歩 |
| ◇ オレはオス これからのデート たのしみだ (オオムラサキ) | |
| ◇ クワガタは カブトムシよりもつよいんだ (クワガタ) | [ま] |

信州昆虫資料館

〒386-1601
長野県小県郡青木村大字田沢18766

代表：小川原 辰雄

TEL：0268(37)3988
FAX：0268(37)3964
Email: kontyu-s@ypost.plala.or.jp

[http://www13.plala.or.jp/
kontyu/](http://www13.plala.or.jp/kontyu/)



後記

昨年は4月から6月迄、前年の来館者(主に子供達)が書き残して下さった昆虫の絵をすべて館内に展示しました。今年はそれらと2年目の作品をファイルし、永久保存で図書コーナーに置いています。また、青木小学校の子供さん達が、昆虫の絵に句を書いて贈って下さいました。作文も頂いております。青木小学校の皆さん本当にありがとうございました。そしてまた、今年もご来館の皆様様の楽しい作品を待っています。

昨年はまた、毎月自然観察会を開催し、信州1000メートル地帯の虫や花や鳥などに近づくことができました。専門の先生方に講義をしていただいたり、コンサートで音楽に耳を傾けたりと、楽しい時を過ごしました。本年も、共に楽しく！！

よろしく願い申し上げます。

なお、怠慢により諸事滞ったままの事柄も多々あり、この場をお借りして関係各位に心よりお詫び申し上げます。本年度はこれらの反省を生かしていこうと思っております。

(野原 記)